

過去の出題傾向について確認しておこう！

阪大入試研究[世界史]

▶ 出題一覧表

過去 10 年間の出題テーマを下記にまとめた。特徴的な形式について【 】内に記してある。

	(I)		(II)		(III)	
	出題テーマ	字数	出題テーマ	字数	出題テーマ	字数
2016	中国王朝の版図	150・100	地中海をめぐる交流の歴史	100・120・50	「大航海時代」のヒト、モノの移動	100・100・100
2015	東南アジアの文字【図版】	90・90・80・100	内村鑑三の講演の資料を用いたヨーロッパ史とアジア史【史料】	100・100・80・150	—	—
2014	産業革命による変化と中国の税制の変化	150・150	イスラーム支配期のインドと 15 世紀～17 世紀の東南アジア【図版】	100・130	伝染病の背景	100・200
2013	西暦 1000 年前後の世界各地の経済や制度【グラフ】	100・150	18 世紀における世界各地の政治・社会・経済的変動【グラフ・史料】	150・250・150	—	—
2012	アフガニスタン関連史	150・180	モンゴル帝国の拡大とその影響	70・150	ヒトの移動	140・180
2011	ブラジルの輸出額の変動に見る近現代の欧米情勢【グラフ】	100・200	秦漢から清朝まで継続された中国の諸制度	250	世界史上の文字の使用と伝播	200・80・100
2010	19 世紀以降の台湾の国際的地位	250	ヨーロッパと周辺部の関係	250・100	世界史上における文字とその伝播の歴史【図版】	300
2009	中国史における南北関係	180・40・80	ヨーロッパにおける冷戦体制の構築【図版】	300	ユーラシア大陸の危機・混乱	120・250
2008	伝統的「世界」観とそれをめぐる衝突・対立	150・150	17 世紀～19 世紀末までのスペイン衰退の経緯	200	グローバル化の進行【15 世紀末～17 世紀、または 19 世紀～20 世紀初頭から選択】	300
2007	4 世紀～13 世紀の中国とユーラシア大陸での人間集団の移動	50・100	アケメネス朝とギリシア世界【史料】	150	東南アジア関連史	80・120・180

▶ 分析と対策

2015 年度は大問数が 2 題であったが、2016 年度は 3 題に戻った。論述の総字数は 790 字から 820 字に若干増加した。ただし、論述問題の数は 8 問と変わらず、100 字程度を中心として様々なテーマからの問題が出題された。論述問題の字数は他の大学と違い「程度」となっているのが特徴で、また、その字数は毎年固定されていないが 40～300 字程度となっている。指定語句が設定されている問題もある。年度によっては単答記述問題が出題されることがある。出題内容としては、特定の地域の通史的な理解と、特定の時代における地域間の横断的理解を問うものに大別できる。東アジアと西ヨーロッパに関連する分野は頻出であり、これらの地域を中心とした他の地域との結びつきの内容や特徴について、教科書や資料集を参考にして地図や表を作成し、100 字程度・200 字程度の文章にまとめる練習をするとよい。他大学の過去問や市販の問題集の論述問題にも積極的に取り組み、その都度添削をしてもらうとさらに効果的である。出題の分野は政治制度・外交・経済・文化・宗教など多岐にわたるので、苦手分野については特に量をこなす必要があるだろう。